

オンライン  
参加費  
無料

日時

2026.2.16 18:00-19:00

月

場所

ZOOMによるオンライン開催

# 医療機器開発を通じた 社会的課題の解決

—先天性心疾患手術用の医療材料の開発を経験して—

帝人、福井経編興業、大阪医科薬科大は共同で、先天性心疾患の再手術リスクを低減する心・血管修復パッチ「シンフォリウム」を開発した。開発成功の鍵は、3者の垣根を超えた共同開発体制に加えて、行政や関連学会の強力なサポートなどを含めた「産官学”ONE TEAM”の強力な連携」にあった。2024年に薬事承認・保険収載を実現。医療機器開発の軌跡・製品化に至るまでの取組の他、海外展開を含めた今後の展望・課題などをお聞きます。

演者

Kentaro Fujinaga

藤永 賢太郎

帝人株式会社

再生医療・埋込医療機器部門

1998年京都大学大学院工学研究科修了後、帝人株式会社へ入社。帝人ファーマ株式会社にて医薬品の製剤開発やDDS、生産技術開発等に従事。2019年より心・血管修復パッチ「シンフォリウム」の開発を主導し、2022年にインプラントブルメディカルデバイス開発部部長に就任。2025年からは組織改編に伴い、再生医療・埋込医療機器部門の研究開発部部長を務める（現職）。

